

(別紙)

1 再生計画案の作成方針及びその履行可能性について

(1) 再生債権に対する弁済総額

約_____万_____円

(2) 弁済期間

3年間

次のとおり特別な事情があるので____年____月間

(特別な事情)

.....
(3) 1か月当たりの弁済額

約_____万_____円

(4) (3)に相当する金員の積立状況

積立を開始している。(※ 現在の積立状況を記載してください。)

平成____年____月から月額_____万_____円積立中

(現在額_____万_____円)

積立を開始していない。(※ 今後の積立予定を記載してください。)

平成____年____月から月額_____万_____円積立予定

(5) 履行可能性

※ 家計収支表の収支状況等に照らして弁済原資とすることができる金額及び住宅資金特別条項を定める場合の計画返済額や家計が同一の者の債務等の弁済額等を説明するなどして、分かりやすく記載してください。

① 今後の平均収入の合計見込月額 約_____万_____円

② 今後の平均支出の合計見込月額 約_____万_____円

③ 今後の弁済原資見込月額 (①-②) 約_____万_____円

2 住宅資金特別条項の作成方針

(1) 住宅ローンの約定弁済合計額 (※ 元金合計額, ボーナス月はボーナス払額合計額, 住宅ローン債権者が複数ある場合はその合計額を記載してください。)

通常月 約_____万_____円

ボーナス月 (____月・____月) 約_____万_____円

(2) 申立時における住宅ローンの支払状況 (遅滞の有無)

遅滞なし

遅滞あり 約_____万_____円

(3) 住宅ローン債権者との事前協議の経過

.....
(4) 予定している住宅資金特別条項の内容

約定どおり

期限の利益回復型 (法199条1項)

弁済期間延長 (リスケジュール) 型 (法199条2項)

元本猶予期間併用型 (法199条3項)

同意型 (法199条4項)